



第5回デジタル化推進検討懇談会

2026年3月25日 10時00分～11時30分
佐渡市役所第1庁舎2階 会議室1-205



- 1 開会
- 2 座長あいさつ
- 3 議事
 - 1) 2031年の先の佐渡市への提言
 - 2) 令和8年度事業概要
 - 3) その他
- 4 副座長あいさつ
- 5 閉会



2 座長あいさつ（座長）



3 議事

1) 2031年の先の佐渡市への提言



3 議事

2) 令和8年度事業概要

デジタル広報室 中期施策概要

令和7年度

令和8年度

令和9年度以降

市民窓口

電子申請



リモート相談窓口



公式LINE



✓ 電子申請による証明書等の交付請求に係る郵送料の無償化

[KPI]証明書等の交付請求に占める電子申請数・割合
市外：4,500件(約90%)、市内：9,000件(約30%)
全国のコンビニ申請利用率と同率を目指す

✓ プッシュ型配信の強化 (リッチメニューに「子育て・医療・福祉」を追加)

タッチポイントの強化により、公式LINEを通じた電子申請の拡大
[KPI]LINEを経由して電子申請又は施設予約がされた割合、公式LINE友だち件数
R7年度:0%→R8年度:30%、R7年度:21,000人→R8年度:26,000人

来る必要のない
市役所

リモート行政窓口
による効率化



移動型行政サービス
の提供



書かない窓口



✓ 「おくやみ窓口」の設置による住民負担の軽減 (R8)

✓ 窓口DXSaaSによる「待たせない、書かせない市役所」の実現 (R9)

[KPI]窓口の利用率 (R9年度以降は人件費削減、設備費用削減も追加)
R6年度:80%→R7年度:90%

✓ BPRの実施による業務・窓口導線の再設計、公金窓口の統合検討

BPR

DXSaaS導入

窓口DXSaaS



待たせない、
書かせない市役所

マイナンバーによる
デジタル市民窓口の実現



行政改革

生成AI

AI-OCR、RPA



✓ DX推進リーダーを核としたAI/RPA評価検証

✓ 自らの業務を改善するための実践プログラム及び伴走支援

[KPI]業務の工数削減
R8年度：1議会あたり200時間。RPA適用業務あたり20～50%の工数削減

ホームページ管理システム



嘱託員制度



✓ 電子版広報紙特製サイト作成 (現行のホームページ管理システムへの機能追加)

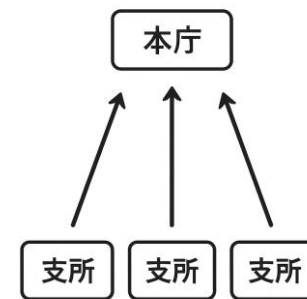
[職員工数の削減とあわせ、戦略的な広報への転換]
・従来と同等の工数で、デジタル広報紙面とHP掲載イメージの双方を同時作成可能
・「お知らせ」から「住民行動を変える導線」への転換

財務会計システム

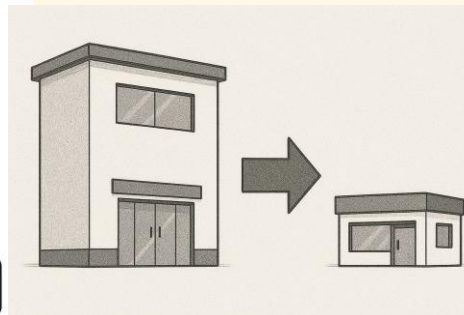


✓ 財務会計システムの電子決済対応

[業務の入口から出口までのデジタル化による工数削減。伝票の電子化によるコスト削減]
・旧来の働き方からの脱却 (請求書のコピー、糊付け、検索の手間、保管の手間)
・伝票の電子化によるコスト削減 (年間約700万円)



職員配置の効率化
(集約と適正配備)



施設維持費の削減
(ダウンサイジング)



3 議事

3) その他



4 副座長あいさつ（副座長：榎 崇斗）



5 閉会



<https://www.city.sado.niigata.jp/>